

©2009 Asahi Shimbun Publications Inc. (本誌掲載の記事は無断転載を禁じます)

鳩山官邸が画策する 12月電撃訪朝計画

日本のキーマン 寺島実郎(日本総合研究所会長)

構築 未来志向の日米関係

オバマ大統領 初来日
 エー・シー・エー東アジア部長フランソワ氏が直言「占領時代から続く米韓基地問題」今こそチェンジのとき

どよりも面白い官邸上座談会 ニュースの裏側を全部しゃべろう

事業仕分けの「にスタ」 前鳥取県知事・行政刷新会議議員 片山善博

「使い切り停止」がこの国を変える切り札だ

週刊ノンフィクション劇場 覆されるか『日本書紀』③ ノンフィクション作家 足立倫行

現代終活事情⑤ 当たり前になった墓の引越「改葬」

世界最大+ナダルトキエス 本見聞記 一本のパイプから世界が見えてきた!

大人はわかってくれない!? 小学生がうつ病で自殺していく...

現金の質問王 保坂展人(前衆議議員)が現場を歩く② 東九州自動車道

建設費半減案を黙殺する 国交省の非常識

作家 海堂尊が提言 「死因究明に警察は医療の助力を仰げ」

追悼 森繁久彌 小沢昭一が語る「スズメ親父の素顔」(すごく女好きで、すごく愛妻家だった)

復活▼ミキティ、不調▼真央 明暗を分けたのはオトコ? それとも...

2年半の逃亡中も変わらなかった。本誌だけが知っている!

市橋達也 容疑者の「異常性癖」

鳥根・女子大生バラバラ事件 犯人がそぎ落とされた大腿部「肉片」の行方

鳥取7人不審死事件 35歳元ホステスが書いた「熱烈ラブレター」の罠

34歳女・婚カツ。詐欺師 病的虚言の世界に咲いた大輪の花 関西学院大学教授 野田正彰

小説	真保裕一 ブルー・ゴールド	66
	夢枕 獏 天海の秘宝	90
	週刊司馬遼太郎	84
	子規と秋山兄弟の選択①	
対談	林真理子 ゲストコレクション	54
	葉加瀬太郎	

親子のカタチ 梨元 勝×眞里奈

週刊図書館 75

書評 「阿修羅」清水良典
 「憂鬱たち」松永美穂
 書いたひと(中村久瑠美) / 話題の新作 / 愛でたい文庫(清水ゆかり) / 愛される理由(永江 朗) / 新書の小匠(青木るえか) / おとなのこども本(吉田伸子) / 忘れられない一冊(谷川俊太郎) / マガジンの虎(亀和田 武)

「目キキ」&「耳キキ」 50
 ●KEY PERSON(岡井道隆) ●MOVIE PREVIEW(2012)
 ●バクオボウの先取り ●ツウの一見! PICK UP [千年の祈り] ●
 選読後のミュージック・サプリメント ●Showbiz Report 梨元勝の
 こまごま書いて恐縮です!

新・名医の最新治療
 性同一性障害 98
 犬ばか猫ばかベトばか 65
 35歳! / ハビはなんだかわからない! 山科けいすけ 72
 バスル DE 脳力測定 73
 お便利クラブ / 編集後記 128



森繁久彌

クラベア	聖なる巨石	5
	さよならスケベ親父	11
	子規の庭 司馬遼太郎「坂の上の雲」	129
	繪本 仮名手本忠臣蔵⑭ 安野光雅	134
	行正り番の 今夜は家呑み 36夜目	138
	●ドン小西のイケてるファッションチェック【上戸 彰】	13
	●FRONT+(小池徹平)	15
	●山藤幸二の似顔絵塾	140
	●山藤幸二のブラック・アングル	142

コラム	田原総一郎 ギロン堂	32
	堀江貴文 ホリエモンの近未来大予測	33
	東山紀之 これまでと、これからと	39
	東海林さだお あれも食いたいこれも食いたい	40
	内館牧子 暖簾にひじ鉄	42
	工藤公康 いつも全力投球	44
	室井佑月 しがみつく女	45
	弘兼憲史 パパは牛乳屋	46
	東 浩紀 批評するココロ	47
	小倉千加子 お代は見てのお帰りに	48
	倉田真由美 フロラ男	49
	米沢富美子 おふみ先生の朗朗介護	95
	鳳華 未来学【伊東美咲】	96
	中森明夫 アタシジャーナル	97
	フェルディナント・ヤマグチ 最後の審判	101
	嵐山光三郎 コンセント抜いたか	102
	滝田誠一郎 Asablo	112

提供:NTTドコモ

夢の扉

「いつの日か」を「今日」に変える
 人たちがいる。

11/22放送(予定)
 自らの理念を浸透させ、更なるビジネスを
 展開させたい 出演者フジテレビ社/漫遊美社/森田

TBS発28局ネット
 毎週日曜日 18:30~19:00 絶賛放送中
<http://www.tbs.co.jp/yumetobi/>

日本の受診患者は7千人以上

性同一性障害

せいどういつせいしようがい



岡山大学病院
ジェンダークリニック産科婦人科教授
中塚幹也医師



岡山大学病院
形成外科准教授
難波祐三郎医師



はりまメンタルクリニック
院長
針間克己医師

2008年夏、性同一性

障害と診断された関西在住

の高橋由里子さん(仮名・

当時21歳)は、岡山大学病

院で女性から男性へとから

だの形を変える性別適合手

術を受けた。2カ月前、乳

房を切除する手術はすでに

終えている。今回は子宮と

卵巣を摘出し、膣の一部を

使用して尿道を延長する大

手術だ。手術後、高橋さん

は戸籍の性別を男に変更し、

正式に「健太」という名前

になった。1年後にはペニ

スを作る手術をしたという。

性同一性障害は、「からだ

の性別」と、本人が自覚す

る「心の性別」が一致しな

いために苦しむ病気だ。「か

らだは女性で心は男性(F

TM: Female to Male)」

という高橋さんのような人

は、人形遊びやかわいい服

など女の子らしいものに興

味を示さず、月経や胸のふ

くらみに嫌悪感を抱く。高

橋さんはこう振り返る。

自らのからだに

違和感をおぼえる

「小学生のころは「いずれ

オチンチンが生えてくる」

と思っていましたし、思春

期になると膨らんできた乳

房をきつい下着で押さえつ

けて隠していました」

逆に「からだは男性で心

は女性(MTF: Male to

Female)」の人は、女性の

格好をしたがり、ペニスが

あることやひげが生えてく

ることが我慢できずに苦し

む場合が多い。

性同一性障害の患者を專

門に診ている岡山大学病院

ジェンダークリニック(産

科婦人科学)教授の中塚幹

也医師は、こう話す。

「思春期には、望む性別と

は逆だからだが大きく変化

するので、焦燥感や抑うつ

感を持ちやすくなる。家庭

にも学校にも居場所を見つ

けられず、不登校になっ

り、自殺未遂や自傷をし

りする人も少なくありませ

ん」

アメリカのデータでは、

FTMよりもMTFのほう

が多いとされているが、日

本では、岡山大や埼玉医大

など全国九つの主要なジェ

ンダークリニックが対象の

調査で、07年末までに受診

したFTMの延べ人数は約

3600人、MTFよりも

1千人ほど多く、海外とは

逆の結果が出た。しかし、

病院を受診していないMT

Fは多いと考えられている。

この数字には一人の患者が

複数の機関で受診している

ケースも含まれている。

高橋さんが受けた「から

だを心の性別に合わせる」

性別適合手術は治療の最終

段階で、いきなり手術をす

るわけではない。治療は通

常、日本精神神経学会が作

成したガイドラインに沿って、

段階的に進められていく。

第1段階は精神科を受診

。生活歴や本人の性に対する

認識、からだへの違和感な

どを聞き取るほか、性染色

体検査などからだの性別

を確認し、性同一性障害の

診断をする。2人の精神科

医と婦人科医または泌尿器

科医が診察し、見解が一致

すれば診断は確定する。そ

の後、どちらの性別で暮ら

すのがいいのかなど、十分

心の性別とからだの性別が一致しない病気を
手術希望者の多くは海外に